

## 平成28年2月（第2回）教育委員会会議議事録

### 1. 開催の日時及び場所

平成28年2月16日（火）17:00～19:50

宇部市港町庁舎 3階会議室

### 2. 出席委員の氏名

水田 和江 委員長

三原 節子 委員

赤川 宏 委員

田村賢二郎 委員

白石 千代 教育長

### 3. その他議場に出席した者

大下教育部長、森島教育次長、松田教育次長、佐貫理事、金重総務課長、石田学校教育課長同格、吉村社会教育課長、古富特別支援教育推進室長、西村総務課長補佐、小林総務係長

### 4. 傍聴者 なし

### 5. 趣 旨

委員長： ただいまから、平成28年2月16日の第2回教育委員会会議を開催いたします。

本日は、5人の委員全員の出席がありますので、会議として成立していることを最初に報告します。

また、本日の傍聴の申し出はありませんでした。

委員長： 次に、議事録の承認についてですが、前回の会議でお配りしています12月15日の第14回と12月21日の第15回の議事録について、ご意見等ありましたでしょうか。

（全委員異議なし）

委員長： それでは、第14回と第15回の議事録について承認とさせていただきます。

続いて、1月18日の第1回の議事録の報告についてですが、机上に配布していますので、次回までにご覧いただき、次回の会議で承認を受けたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は赤川委員にお願いします。

委員長： 本日の議題は、「議案第2号 平成28年度 教育費当初予算について」、「議案第3号 教育費補正予算について」の2件とその他の事項として、「寄附の報告について」の3件となっております。

委員長： それでは、次第に沿って、はじめに、「議案第2号 平成28年度 教育費当初予算について」、事務局から説明をお願いします。

事務局： 議案第2号 平成28年度 教育費当初予算について、説明します。

教育委員会の平成28年度当初予算は、3月議会にむけて、財政当局等と調

整中ですが、現段階での要求額は、事業費全体で、約４１億７千万を計上し、平成２７年度当初予算と比較して、約３千４百万の増となっています。

この額につきましては、教育委員会が所管するものだけでありますので、教育費全体としては、文化、スポーツなど市長部局の所管となるものも含めることとなります。一般会計に占める教育費の割合は、平成２７年度が９．１％に対し、平成２８年度は、ほぼ同程度の９．０％となる見込みで、必要な教育予算については、ある程度確保できるものと考えています。

委員長： 只今の説明に対し、御意見、御質問はありませんか。

委員： 学校給食課の予算が前年度と比較してかなり増加していますが、どのような理由でしょうか。

事務局： 職員給与費等は算定から除いてありますので、新たに民間委託する調理場の委託費の増による影響があると思います。

委員： 全中学校という表現をしている項目とそうでない所があるが、使い分けをしているのですか。

事務局： 全ての中学校が含まれる場合に、全中学校と記載しています。

委員： ＩＣＴ教育について、指導者の質の向上が気になりますが、研修体制等はどうなっていますか。

事務局： ＩＣＴ専門コーディネーターを派遣して、授業で使いこなせる教員を増やすよう、積極的に研修を行っています。

委員： 相当の予算を計上してあるので、ぜひ効果が出せるようにしていただきたいと思います。

委員： 伝統文化で小学校は含まれないのですか。

事務局： 主な取り組みとして記載しているのは中学生に関してですが、小学校については、公園整備局において、彫刻教育の予算化をお願いしているところです。

委員： 公園整備局のほうも苦労があるようですので、教育委員会としてもしっかり連携して、事業を進めていただきたいと思います。

委員長： 小中一貫教育で、小中一貫教育推進連絡協議会(仮称)を立ち上げるのであれば、有識者を１、２年間でも嘱託として雇用できないのでしょうか。小中一貫教育を実施するのであれば、５０年６０年の長期スパンで検討する必要があると思います。ＩＣＴ教育では、色々な子どもたちがいますので、使い方の指導が出来るようにならないといけないと思います。

支援ボランティア推進事業で、保育所、幼稚園、学童保育、小中学校のボランティアとありますが、小中学校の教育支援ボランティアに求められる事と、学童保育で求められること、幼保で求められる事はまったく違うことなので、そのあたりどのように考えているのでしょうか。

ボランティア養成も大事ですが、もっと教育委員会が、学校現場を回って支援の充実を図る必要があると思います。

事務局： この事業の予算は、小中学校の支援ボランティアと、学校の教職員が情報共有を図るためのミーティングルームの設備を充実させるための経費を計上し

ています。

委員長： 支援ボランティアのためだけの椅子、テーブルは無駄ですので、コミュニティ・スクールや、うべ協育ネットなど横の広がりにつながるような場所で使って欲しいと思います。

事務局： 支援ボランティア養成講座についてですが、平成27年度に小学校14校区で実施しましたが、出来るだけ早く、全小学校24校区で講座を開催することによって、ボランティアを増やすとともに、校区の方々に理解を広める目的もあります。また、現在は小学校中心ですが、幼稚園や保育園、学童保育などでもニーズがあると思いますので、専門性の問題はありますが、ボランティアに関わっていただきたいと考えています。

椅子、テーブルについては、もちろん支援ボランティアだけということではなく、広く活用できる形でと考えています。

委員長： そういうことであれば、支援ボランティア養成講座は、それぞれ別に行うべきではないでしょうか。健康福祉部でも、発達障害児支援ネットワークのボランティア養成に予算がついていると思いますが、教育委員会でやるのであれば、小中学校でボランティアの役割が果たせるようしっかりやっていかなければと思います。今、学校現場では、ボランティアと教職員、保護者とのミスマッチが発生していると聞いています。こういうことがないよう、調整や指導を教育委員会がしっかり行わなければいけないのではないのでしょうか。

委員： 小中学校エコスクール整備事業で、屋根貸し事業を活用とありますが、収入が入るようになるのですか。

部長： これまでは国の補助を受けて、教育委員会がソーラーパネルを設置していましたが、28年度からは、太陽光発電事業者が増えてきていますので、事業者の有料で屋根を貸すという事業を検討中です。

委員： その収入は、施設課のものになるのですか。

部長： 市の歳入になると思います。

委員： 学びの創造推進事業で、公開授業では、小学校で、学びあいのある授業が、あまり浸透していないようですので、小学校の方に、外部講師招聘の予算を重点的に使っていただけたらと思います。

事務局： スーパーバイザーについては、平成29年度までに全ての学校に入る予定にしています。また、宇部授業の日も同様に、平成29年度までに全ての学校が実施することとしています。

委員長： 耐震化の予算は、これで大丈夫なののでしょうか。

事務局： 予算的にも、施行スケジュール的にも限界まで計上しています。

委員長： よろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： それでは、「議案第2号 平成28年度 教育費当初予算について」、原案のとおり承認します。

次に「議案第3号 教育費補正予算について」事務局からお願いします。

事務局： 「議案第3号 教育費補正予算について」説明します。

今回の補正予算につきましては、決算見込みに合わせまして予算を補正するものです。

委員長： サポート教員等配置経費が、かなりの減額になっていますがどういう理由ですか。

事務局： これは、嘱託職員の勤務実績や、臨時職員の採用時期の遅れにより、出勤日数が、当初予定よりも減少したことによるものです。

委員： 多子世帯保育料等軽減事業費について、かなり減額されていますがどのような理由ですか。

事務局： 補助対象者及び補助金額が当初見込みよりも少なかったことによるものです。

委員長： よろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： それでは、「議案第3号 教育費補正予算について」、原案のとおり承認します。

続いて、その他の事項「寄附の報告」についてお願いします。

事務局： 平成28年1月分寄附について、資料に記載のとおり2件の寄附がありましたので報告します。

委員長： 次に、「宇部市立小中学校の適正配置に関する報告」について、事務局からお願いします。

事務局： 1月21日に神原ふれあいセンターで、第5回見初小学校・神原小学校統合準備協議会を開催しました。前回の会議で、各団体で意見を再確認するということになりましたので、その集約した意見について協議を行いました。その中で、神原小学校関係者から、昨年12月のモルタル片落下事故を受け、統合が進まないのであれば、神原小学校の校舎建て替えをすすめ、当面は小中連携校とし、将来、見初小学校を受け入れる施設を準備しておくという提案がありました。これについて、見初小学校関係者から神原小学校の提案を持ち帰って校区で検討するという発言がありました。次回の協議会で、見初小学校側からなんらかの意見があると思います。

また、見初小学校関係者から「子どもたちが楽しく学校に通えること」「子どもたちが安心安全に学校に通えること」「見初校区が活性化すること」の3つの条件が満たされれば、統合に向かって前進する可能性はあるが、現段階では検討条件が示されていないので、判断材料とするため質問状や、保護者意見等を提出し、その回答を見て、校区で改めて協議する等がありました。

なお、質問状等については、既にご相談したとおり回答しています。

神原中学校の関係者からは、統合場所となる神原中学校で、神原小学校、見初小学校の地域住民を対象に協議会を開催してはとの提案がありました。

その他、今後は未就学児の保護者等できるだけ若い世代を入れていくべきではないか等の意見がありました。

次回の見初小学校・神原小学校統合準備協議会は、各団体の総会等がありま

すので、５月頃に開催する予定です。

委員長： 御質問、御意見はありますでしょうか。

委員長： 校区が広がることで、見守り隊の体制は十分かというのは気になります。

事務局： 見守り隊の体制とともに、通学路自体の安全性も上げていかなければならないと考えています。委員からは、別の校区を通っていくことに不安を感じてられる方もいます。

委員： 他の校区を通って通学することは、出来るだけ避けるよう配慮する必要があると思います。

委員： 見初、恩田、琴芝校区の境界が分かるものを見せてもらえますか。

委員： 通勤の途中に見守り隊の方を見かけますが、高齢の方が多いので、教育委員会としても、なんらかの形で支援が必要だと思います。

委員長： 学童保育の受け入れは、検討していますか。

理事： 両校あわせて１００名弱くらいの在籍数だと思いますが、余裕を持って対応できるようにしたいと考えています。

委員： 小中一貫についてですが、川上小学校と川上中学校は隣接していますが、時折中学生が、横断歩道でないところを横断していますが、それを見て小学生がまねをするというような悪影響もあるのではないのでしょうか。

教育長： 先進地視察の時に、その点について話を伺いましたが、やはり中学生に小学生の見本となるような意識がめばえ、メリットが大きいとのことでした。

委員： 成人式などでも、小学生が登場しているときは、会場が静まります。小学生のなかには、中学生に混じって悪いことをしようとする子もいますが、中学生のほうは、小さい子が見ている前で、変なことはできないと思うのではないのでしょうか。

事務局： 次に、見初小学校・神原小学校統合準備協議会委員から質問についてですが、既にご相談のとおり回答しましたので報告します。

また、「小野小学校の教育環境の改善に関する要望書」についても、ご相談のとおり回答しましたので、報告します。

委員長： その他よろしいでしょうか。

事務局： 「いじめアンケート」の結果について報告します。

平成２７年１０月に全小中学校の児童生徒及び保護者にいじめアンケートを行いました。児童生徒は９９．９％、保護者については、９７．９％の回収率となりました。このアンケートでいじめがあると回答されたものについては、学校が聞き取り調査を行い、指導等を行っています。

全体的な傾向としては、減少傾向にあります。引き続き、きめ細やかな対応が必要であると考えています。

委員： 減少傾向にあるのは喜ばしいことですが、アンケートの回答に対する聞き取りの結果に、児童生徒が満足できないと、次回から本当のことを書かなくなる可能性があります。

委員： 相談する人がいないと回答している児童生徒がかなり多いと思いますので、

これが減少するよう対応をお願いします。

それとアンケートに現れないいじめについても、教員が心に留めて、感性を磨いていく必要があると思います。

委員長： 保護者についての対応は、どうなっていますか。

事務局： 学校が聞き取りを行っています。

委員長： 学校以外の相談機関との連携は出来ていますか。

事務局： 学校がアンケートを実施しますので、まず学校が窓口となって対応しますが、話を聞く中で、専門機関の対応が必要であると判断すれば、学校安心支援室やスクールソーシャルワーカー、児童相談所等でケース会議を行うようにしています。

委員長： いじめがあると回答した保護者が、学校以外のどのような機関に相談しているのかを把握しておいたほうが、良いと思います。

教育長： アンケートの設問内容についても、随時見直しが必要だと思います。

委員： いじめをしたことがあると、回答した子どもについての対応は、どうなっていますか。

事務局： 教育相談等を行っています。

委員： 子どもたちだけで、いじめの問題を解決できたという事例の把握はされていますか。そのような集団をつくることが理想だと思います。

事務局： 学級活動等が中心となると思いますが、教科の指導のなかでもできると思いますので、教員が自治、自立について指導ができるよう教育委員会も支援していきます。

委員： 一部のグラフだけ、小中合算になっていますので、統一できればと思います。

委員長： 他になにかありますか。

委員長： 以上を持ちまして、本日の教育委員会会議を閉会とします。